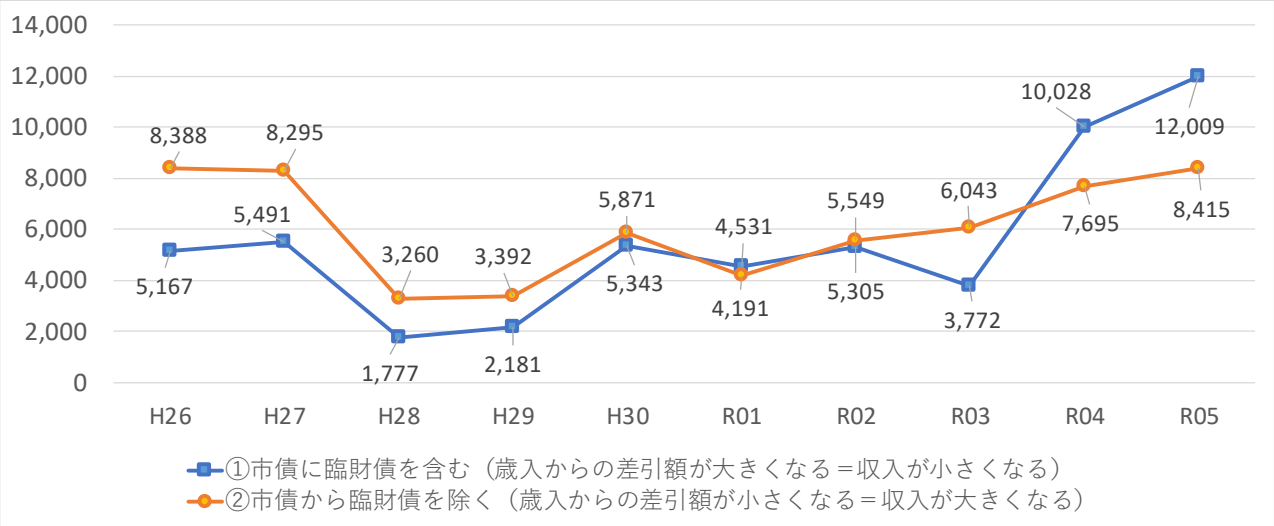
令和５年度決算の行財政改革事項

歳入面では、普通財産の土地の売却や、事業用定期借地などの貸付を行いました（約 3 億円）。また、市の発行物などへ有料広告の掲載を引き続き推進する（約 0.7 億円）など、自主財源の確保に努めました。

歳出面では、「家屋現況図修正業務委託の見直し」や「介護認定審査会のオンライン開催及び資料のペーパーレス化」など各課において事務改善を取り組むことにより、経費削減に努めました（約 0.2 億円削減）。

プライマリーバランスは、市税をはじめとする自主財源の確保及び義務的経費を含む経常的経費の抑制に努め、約 84 億円の黒字となりました。

プライマリーバランス（基礎的財政収支）



・プライマリーバランスとは、基礎的な財政状態を示す指標の一つで、「市債発行額を除いた歳入」と「市債の元利償還金を除いた歳出」との差である。
・つまり、自分の稼ぎよりもお金を使っているかどうかを計る物差しである。
・これが均衡していれば、理屈上は新たな借金は、すべて過去の借金返済に使われ、借金残高の増加を抑えることができるとされている。
・支出が収入を上回っている赤字の場合は、現在の市民が税金などの負担以上に市から公的サービスを受けている状態であり、そのつけを将来の世代に回しているとみることもできる。（将来世代への負担の転嫁）
・臨時財政対策債は実質的には交付税であることから、②は臨財債分を「自分の稼ぎ」として考えて算出したもの。